

## 「箕面市の経営改革 ビジョンと戦略」分科会 検討状況報告

### どうい問題意識をもって分科会活動をスタートしたか

分科会発足時に当分科会に与えられたテーマは「市役所にもっと経営感覚を」というテーマで、具体的には「総合計画は箕面の黒柱」「財政再建待ったなし」「たくさんの公共施設のこれから」という三つの課題がありましたので、全体会議で皆さんから出された個別の問題意識は漏らさず取り上げる姿勢でスタートした。

個別の問題意識を整理すると「行財政改革」ということになるが、それは市役所だけではなく全市民が協力して臨むべき課題であり、また現時点で箕面市の経営が危機に瀕しているとはいえないが、このままではその将来が危惧されるので、今から行政・市民協働で市の経営改革を推進すべきであるとの認識から、分科会名も変更した。

### どのように取り組んできたか（活動の経過概要）

箕面市の財政や行政の現状、各種制度規則計画等の現状、他市の行財政改革の現状等々について分担して研究、報告を重ね、テーマに関する基礎的知識を共有すると共に分科会としての問題認識を整理した。

その結果

- 財政の健全化・透明化
- 行政運営の効率化・透明化
- 市議会への期待
- 市民参画
- 総合計画

の五つのテーマに絞って、具体的な現状認識と将来あるべき方向について討議を重ねた。

（これまでに9回の分科会を開催）

### 現時点でのまとめ（課題、方向性、取組アイデア）

別紙の通り

総合計画については「まちづくりの中での、次期総合計画の位置づけ・役割」で報告した通り

### 今後の活動予定

本日の全体会議で分科会参加者以外から出される提案も考慮するが、提言テーマの大筋はほぼ固まりつつあるので（必要に応じて新たな追加もする）、今後は議会、審議会などを傍聴してその実態を一層認識すると共に、市民会議以外の市民団体、学識経験者、行政職員、市議員、他市の担当者等の意見を広く聴取しながら、必要に応じて定量的な目標も入った具体的な提言内容を煮詰める。そのためにも行政側から構想・計画提言の前提となる2020年までの市の人口、年齢構成、税収額などの推定値を提示願う必要がある。

また、提言内容は結果を羅列するだけでなく、その結果を得るためのプロセスまで織り込まれれば幸いだし、改革推進のための諸制度は具体的な条例案まで踏み込みたい。

## 箕面市の経営改革

### 基本理念

市民・議会・行政の協働体制により市民ニーズに対応した付加価値の高い市民福祉を効率的、効果的（適正な内容・適正なコスト・適正なタイミング）に提供できる経営を目指す。そのために行政には明確な将来ビジョンに基づいた戦略的な経営改革、市民には市民参加と官民協働による経営への積極的な参画が求められる。

### 経営改革の方向

#### 1. 財政の健全化・透明化

情報公開と説明責任（実態を市民にわかりやすく公表）

財政フレームの設定と重点的な財政運営（健全な財政の維持、全事業の見直し再構築など）

個別課題への対応（財源対策、適正な受益者負担、アウトソーシング、ボランティア職員の活用、公共施設の統廃合、遊休資産の活用、入札制度の改革・・・）

#### 2. 行政運営の効率化

経営改革推進体制の構築（行政内部体制、市民中心のシンクタンクなど外部との協働体制）

官民の役割を明確化して、業務再構築計画の充実と促進

行政の内部改革推進によるによりスリム化の実現（組織・人事の刷新、業務の標準化・マニュアル化、ICT活用など）

行政評価制度の進展（市民など第三者による客観的評価の導入）

その他の個別課題への対応（ISO登録、広域連携の推進・・・）

#### 3. 議会への期待

積極的な公開（開催日時、公開手段・方法、傍聴のあり方など）

議員と市民の対話（市民・議会フォーラムの設置など）

### 経営改革の推進基盤

#### 1. 情報公開と説明責任

市民と共有すべき情報は一方的な情報提供にとどまらず、市民の意見も聞ける場を設定（予算案説明会、各種対話集会など）

行政に関するあらゆる情報を法律に反しない範囲で市民のニーズに応じて積極的に公開

議会、審議会、委員会、重要な行政内部会議などの傍聴制度改革、正確・迅速な会議録公開  
普通の市民にわかりやすい説明、広報

#### 2. 市民参画

市民参画機会、監視機能の拡充（市民フォーラム、市民研究会、オンブズマン制度、シンクタンク、市民会議・・・）

市民参画制度の見直し 形式的参画から実質的参画へ（審議会・委員会、パブリックコメント、選挙、住民投票・・・）

#### 3. 経営改革推進の基盤となる諸制度の確立

自治基本条例、財政健全化条例、議会基本条例、経営改革推進条例など

#### 4. 官民協働パートナーシップの確立

行政と対等のパートナーとしての市民参画（行政・市民の意識改革）

行政のパートナーとして機能し、責任を負える市民を幅広く育成